

令和6年度小浜市立加斗小学校「学校評価総合シート」

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)				達成率(A+B)	成果(○)・課題(△)・改善策(◇)	
				A	B	C	D			
思いやりのある仲間づくり	○自他を尊重し、認め合う心の育成	・人権教育、道徳教育の充実 ・縦割り活動を通じた仲間づくり (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 児童がお互いの人権を尊重するように指導できましたか。	A 11%	B 89%	C 0%	D 0%	100%	○児童、保護者ともに「よくなった」「だいたいできた」が9割だった。 △学校では、友達に対して思いやりに欠ける言動が見られた。人権教育や道徳教育を自分事として捉えられていない。また、教員も自分の言動を振り返る必要がある。 ◇人権教育や道徳教育に引き続き力を入れる。日頃から気がかりな児童の言動を見逃さず、1つずつ拾って児童に考えさせる。また、人の立場に立って考えることを引き続き指導する。保護者向けアンケートの質問を「よい言葉づかいをしているか」などの、具体的な質問に変える。
			[成果] 児童	Q: あなたは、自分や友達のことを大切にしていますか。	A 68%	B 30%	C 2%	D 0%	98%	
			[満足度] 保護者	Q: お子様は、自分や友達のことを大切にしていると思えますか。	A 66%	B 32%	C 2%	D 0%	98%	
○教育相談活動の充実	・児童理解に沿った生徒指導の充実 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 児童が学校に来るのが楽しいと思える学級づくり、学校づくりを行いましたか。	A 33%	B 67%	C 0%	D 0%	100%	○教員、児童、保護者も目標を達成した。 成果の背景には、アンケートをもとに教育相談を丁寧に行ったことが考えられる。また、登校をしづめている児童に対しては、すぐに話を聞いたり、電話連絡を取ったりするなど早期に手を打つことができた。 ◇縦割り活動を充実させる。困ったことが気軽に相談できる関係づくり、一人一人に居場所がある学級づくりを行う。	
		[成果] 児童	Q: あなたは、学校が楽しいですか。	A 82%	B 16%	C 2%	D 0%	98%		
		[満足度] 保護者	Q: お子様は、学校が楽しいと感じているように思えますか。	A 58%	B 35%	C 7%	D 0%	93%		
○あいさつ運動の推進	・あいさつと気持ちの良い返事の励行 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 児童が気持ちのよいあいさつができるように指導できましたか。	A 44%	B 56%	C 0%	D 0%	100%	○児童は、学校に来ているときはあいさつをしているため、「できている」の評価が高い。声はよく出ている。 △校内ではできているが、学校外ではあいさつができていない。 ◇「誰に」「どんな挨拶なのか」という目的意識が持てるように指導する。	
		[成果] 児童	Q: あなたは、友達や地域の人に自分からあいさつをしていますか。	A 63%	B 33%	C 3%	D 0%	96%		
		[満足度] 保護者	Q: お子様は、家族や地域の人に自分からあいさつをしていますか。	A 37%	B 46%	C 12%	D 5%	83%		

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)				達成率(A+B)	成果(○)・課題(△)・改善策(◇)	
				A	B	C	D			
確かな学力づくり	○自ら学ぼうとする児童の育成	・問題解決能力を育む授業づくり ・ICT機器の有効活用 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 児童が自ら学習に取り組むよう、授業改善に取り組みましたか。	A 33%	B 67%	C 0%	D 0%	100%	○教職員全員が授業改善やICT活用に取り組んでいる。児童も概ね主体的に学ぶことができていると評価している。 △保護者の評価の値が低めである。家庭での子どもの様子を見たり、子どもに尋ねたりしての評価であると思われる。 ◇保護者に尋ねられたときに「進んでがんばっている！」と言える子どもを育てていくことが一つの手立てと考える。今後も子どもたちの出番の多い授業展開を工夫していくことが大切である。
			[成果] 児童	Q: あなたは、進んで学習に取り組んでいますか。	A 56%	B 35%	C 7%	D 2%	91%	
			[満足度] 保護者	Q: お子様は、進んで学習に取り組んでいると思えますか。	A 40%	B 40%	C 15%	D 5%	80%	
○自分の考えを論理的に表現する力の育成	・自分の考えや思いを発表する時間と場の設定 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 自分の考えを論理的に表現する力の育成を意識して授業を行いましたか。	A 33%	B 67%	C 0%	D 0%	100%	○教職員も子どもも概ね表現し伝える力を伸ばしていこうとしている。様々な発表の場面を見ても、加斗小学校全体として表現力は高まってきていると感じられる。 △保護者の評価の値が低めである。保護者の期待と児童の実態に乖離があると考えられる。 ◇学校行事などでの振り返りの内容の向上、授業参観などで児童が発表する機会を増やしその姿を見せよう。そのため日々の授業や学校生活の中で表現する機会を増やしていく。	
		[成果] 児童	Q: あなたは、自分の考えを友達に伝えることができましたか。	A 75%	B 22%	C 3%	D 0%	97%		
		[満足度] 保護者	Q: お子様は、自分の考えを友達に伝えることができていると思えますか。	A 33%	B 50%	C 15%	D 2%	83%		

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)				達成率(A+B)	成果(○)・課題(△)・改善策(◇)	
				A	B	C	D			
健康な体づくり	○ねばり強く挑戦する児童の育成 ○運動に親しむ機会の充実 (A+B)≥80%	・水泳、マラソン、なわとびでの成功体験の積み重ね	[取組] 教職員	Q: 児童が行事や体育の活動で目標に向かって粘り強く挑戦するよう指導できましたか。	A 50%	B 50%	C 0%	D 0%	100%	○教職員、保護者全員が「よくなった」「だいたいできた」と回答している。また、9割以上の児童が目標を立ててがんばることができていた。取り組みの意図が児童や保護者の方へ伝わっていると考えられる。 △少数ではあるが、目標を立ててがんばることができていない児童がいる。 ◇目標を立てる時間を確保する。また、目標に向かっていく過程で、児童のつまずきを把握し、その都度児童に応じた適切な支援をしていく。
			[成果] 児童	Q: あなたは、水泳やマラソンなどの体育の活動や行事で目標を立ててがんばりましたか。	A 82%	B 15%	C 3%	D 0%	97%	
			[満足度] 保護者	Q: お子様は、行事や体育の活動に意欲的に取り組んでいましたか。	A 72%	B 28%	C 0%	D 0%	100%	
○望ましい生活習慣、食習慣の習得	・スイッチオフウィークの実施 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 児童がスイッチオフウィークにメディアとのつきあい方を意識して生活するように指導できましたか。	A 29%	B 57%	C 14%	D 0%	86%	○教職員、児童、保護者とも8割以上「よくなった」「だいたいできた」と回答している。教職員によるこまめなチェックシートの確認や声掛け等の指導の取り組みが児童の成果につながったと考えられる。 △教職員、児童、保護者とも「あまり思わない」「思わない」の回答が見られる。 ◇各担任を中心に、メディアとのつきあい方、スイッチオフウィークの過ごし方について指導する時間を意図的に作る。 チェックシートを随時確認し、気になる点があればすぐに児童に伝えるようにする。	
		[成果] 児童	Q: あなたは、スイッチオフウィークにめあてやルールを守って生活できていますか。	A 55%	B 35%	C 8%	D 2%	90%		
		[満足度] 保護者	Q: お子様は、スイッチオフウィーク期間中にめあてやルールを守ろうと意識して生活していましたか。	A 38%	B 48%	C 10%	D 3%	86%		

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)				達成率(A+B)	成果(○)・課題(△)・改善策(◇)	
				A	B	C	D			
家庭・地域と共に進む学校づくり	○ふるさと学習を通して地域への愛着心の向上	・地域に根ざした体験学習、ふるさと学習の推進 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: ふるさと(加斗地区)のよさをみつける教育を進めることができましたか。	A 56%	B 33%	C 11%	D 0%	89%	○児童はほぼ全員が「ふるさとが好き」と答えている。保護者も95%が肯定的な回答である。各学年の実態に応じた体験学習やふるさと学習を行っている成果であると考えられる。また、学校外で地域の方とかわかるといふことが多いことが要因とも考えられる。 △教員の中にはふるさと教育の推進が十分ではなかったと評価している者もいる。 △保護者の5%(4人)は「あまり思わない」と回答しており、児童の回答との差がみられる。 ◇児童がふるさとに愛着を感じ、楽しみながら学習していることを発信し、保護者や地域の方に知らせるようにする。
			[成果] 児童	Q: あなたは、ふるさと(加斗地区)が好きですか。	A 97%	B 3%	C 0%	D 0%	100%	
			[満足度] 保護者	Q: お子様は、ふるさと(加斗地区)が好きだと思いますか。	A 57%	B 38%	C 5%	D 0%	95%	
○保護者・地域への積極的な情報発信	・学校だより・学級だよりの発行、学校HPの適宜更新 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: 各種おたよりを適宜発行し、児童の様子を伝えましたか。	A 43%	B 43%	C 14%	D 0%	86%	○保護者の97%が学校の様子がよくわかると回答している。学校だより、学年だより、ほけんだより等の定期発行により学校の様子が十分に伝わっていると考えられる。 △保護者の中には「あまり思わない」との回答がある。 ◇デジタル配信で便利になった反面、伝わりにくいことがあるかもしれない。紙面の作成方法や文面、配信方法について検討する必要がある。また、授業公開、保護者参観の機会を今年度より増やす。	
		[成果] 児童	Q: 各種おたより、学校HP、授業参観などから、お子様の様子や学校・担任の考えがよく分かりますか。	A 55%	B 42%	C 3%	D 0%	97%		
		[満足度] 保護者	Q: 各種おたより、学校HP、授業参観などから、お子様の様子や学校・担任の考えがよく分かりますか。	A 55%	B 42%	C 3%	D 0%	97%		

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)				達成率(A+B)	成果(○)・課題(△)・改善策(◇)	
				A	B	C	D			
業務改善の取組	○勤務時間管理意識の向上	・一斉退勤日の設定 ・会議の効率化 (A+B)≥80%	[取組] 教職員	Q: タイムマネジメントを意識して働くことができましたか。	A 30%	B 60%	C 10%	D 0%	90%	○90%がタイムマネジメントを意識して、働くことができましたと回答している。 ◇児童の思いを取り入れた行事の見直しを行うとともに、デジタル化を推進する。